

9月11日(金曜日)「真の幸福の教え(7)」

【新改訳 2017】

マタイ 5.9

「平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子どもと呼ばれるから。」

これはまた、なんとすがすがしいことばでしょうか。「心のきよい者は幸いです」のことばと同様に、まことに神の御子、イエス・キリストのおことばにふさわしい、他のどんな人も語ることのできないことばであると思います。

人類の歴史は、平和の時代よりも戦争の時代のほうがはるかに多い(長い)とも言われます。人間関係や個人の心の中においても同様なのではないのでしょうか。

主イエスは、「平和をつくる(つくり出す)者は幸いです」と言われています。平和を口にする人や望む人は多いのですが、それだけでは得られないのです。「平和をつくり出す人」こそ幸いなのです。そうゆう人こそ神の子どもと呼ばれるから一と主は語られました。そして自ら、神と人、人と人、個人の心の中に真の平和をもたらしてください

さったのです。私たちは、神の子どもと呼ばれるでしょうか。

～祈り～

主よ。今日、国々の間でも、一国内でも、職場でも、家庭でも、紛争や仲違い、反目などがあふれています。どうか、そのような中であって、平和をつくる者にしてください。

**【学びのために】**

「平和」について:国と国の間の平和、人と人との間の平和、自己との平和、そして何よりも、神との平和があります。エペソ 2.14-18 参照。